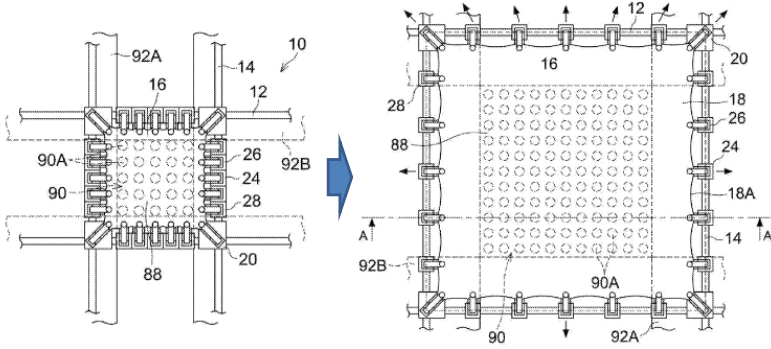


発明の名称	二軸延伸装置 (WO2018/088280)	
学内発明者	上原 宏樹(理工学府) 山延 健(理工学府) 他	
技術分野	延伸、製膜	IP28-013
発明の概要	本発明は、延伸対象物を加熱しながら二軸方向に延伸させ、薄膜を製造する二軸延伸装置であり、井桁上に配置された X 方向バーと Y 方向バーと、延伸対象物の外縁を把持可能な複数の移動チャックと、それぞれのバーを移動させながら延伸対象物を延伸させる二軸延伸装置である。	
説明図	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>(a) 延伸する前の初期状態</p> <p>(b) 延伸状態</p> <p>図1 延伸方法</p> </div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>二軸延伸装置のそれぞれのチャックの把持面によりフィルムの外縁を把持し、フィルムの外縁以外の部分を加熱しながら直交する Xバーと Yバーを移動させることで、延伸対象物を初期状態(a)から延伸状態(b)に延伸し薄膜を製造する。</p> </div>	
ポイント	従来のパンタグラフ機構を利用してチャックの間隔を調整する構造と比較して、各チャックの初期間隔を狭くすることができる。そのため、60mm×60mm の延伸対象物を 1.2m×1.2m 程度まで延伸でき、さらに、構造が単純となり製造コストを削減できる。	